



【お知らせ】

資料配付の場所・日時

1. 文部科学記者会(資料配付)
2. 科学記者会(資料配付)
3. 国土交通記者会(資料配付)
4. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配付)
5. 筑波研究学園都市記者会(レク付き資料配付)

日時:平成 23 年 12 月 5 日(月) 13:30

平成 23 年 12 月 5 日

国立高等専門学校機構と土木研究所の 連携・協力協定の締結について

独立行政法人 国立高等専門学校機構
独立行政法人 土木研究所

1. 協定の趣旨

全国に所在する国立高等専門学校（51校 55キャンパス）の設置者である独立行政法人 国立高等専門学校機構（理事長 林 勇二郎）「以下「高専機構」という」と土木技術に関する研究開発、技術指導、成果の普及等を行う独立行政法人 土木研究所（理事長 魚本健人）「以下「土研」という」とが連携・協力の推進に関する協定を12月7日、高専機構竹橋オフィスにおいて締結する運びとなりましたので、ご案内いたします。

高度経済成長期に大量に建設された橋梁の老朽化が社会的に問題となる中、国や都道府県、政令指定都市と比較して技術者数・技術力に乏しい市町村では対応が難しく、市町村道路管理者の維持管理技術力の向上が求められています。

現在、13の国立高等専門学校（福島・群馬・石川・福井・舞鶴・和歌山・明石・徳山・呉・香川・阿南・高知・熊本）建設系教員が協力して「橋の老朽化対策研究会」を立ち上げ、市町村管理橋梁の老朽化対策に取り組んでおり、土木技術のスペシャリストである土研と連携・協力することにより、市町村へのより効果的な支援を全国規模で展開・推進することが可能となります。

2. 協定締結の経緯

香川高等専門学校では、市町村が管理する橋梁の老朽化問題に対応するため、市町村の道路管理者を対象とした「実践的橋梁維持管理講座」を平成20年8月～22年3月の間に全19回開催してきました。

この講座を開催するに当たっては、独立行政法人土木研究所構造物メンテナンス研究センターが講師派遣等を行っており、講座の開催を契機として平成21年5月29日、両者の間で「市町村の道路管理者の橋梁維持管理技術力育成に関する協定書」を締結しました。

今回、法人間で協定を締結することにより、香川高等専門学校と構造物メンテナンス研究センターの取組を2法人全体の取組に拡大して推進します。

3. 協定の主な内容

高専機構が設置している国立高等専門学校と土研が設置・運営する研究所、センターとが、協力可能な全ての分野における人材育成・産学共同教育の相互支援、研究開発などの具体的な連携・協力を効果的に推進することにより、我が国の学術及び産業技術の振興に寄与するとともに、社会基盤の整備と維持管理を通じて地域社会に貢献します。

4. 協定締結式

日時：平成 23 年 12 月 7 日（水）午前 11 時～

場所：国立高専機構竹橋オフィス

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 2 階 201 会議室

内容：①両法人理事長挨拶

②趣旨説明

・香川高等専門学校長

・土木研究所構造物メンテナンス研究センター

橋梁構造研究グループ長

③協定締結

④写真撮影

出席者：独立行政法人国立高専機構理事長 林 勇二郎 他関係者

独立行政法人土木研究所理事長 魚本健人 他関係者

5. 各機関概要

○独立行政法人 国立高等専門学校機構

国立高等専門学校を設置すること等により、職業に必要な実践的かつ専門的な知識及び技術を有する創造的な人材を育成するとともに、わが国の高等教育の水準向上と均衡ある発展を図ることを目的とする教育機関です。

○独立行政法人 土木研究所

土木技術の向上を図り、良質な社会資本の効率的な整備に資することを目的として設立された、日本を代表する土木関係研究機関です。研究開発のみならず、国や地方公共団体への技術指導も行っています。

【本件担当】

独立行政法人国立高等専門学校機構

本部事務局 企画課長 宮倉 尚之

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター10F（竹橋オフィス）

TEL：03-4212-6811 FAX：03-4212-6810

E-mail：kikaku@kosen-k.go.jp

独立行政法人土木研究所

構造物メンテナンス研究センター（CAESAR） 主任研究員 加藤隆雄

〒305-8568 茨城県つくば市南原 1-6

TEL：029-879-6773 FAX：029-879-6739

E-mail：t-kato@pwri.go.jp